

第3回

国際シンポジウム

福島・チェルノブイリ・スリーマイルアイランド

チェルノブイリ・スリーマイルアイランドの教訓を福島に生かす

～コミュニティ再建の方途を目指して～

開催日時

2018年 8月1日(水)～3日(金)

入場無料

1日(水) 9:00～17:00

2日(木) 9:00～17:50

3日(金) ※発表参加者の東京電力福島第1原発視察ツアー

途中入退場可

開催会場

東日本国際大学1号館 201教室
(最終日は現地)

シンポジウム内容

スリーマイル島およびチェルノブイリ原発事故を教訓・事例とした、福島第一原発の事故収束に向けたデコミッション(原子力施設の解体・撤去・廃止措置)を中心に、環境除染、放射線医療、復興などを提示。その研究内容や実際の取り組み、将来の展望などを多角的に検証する。



福島復興創世研究所所長
大西 康夫

主なテーマ

- ・福島第一原発のデコミ・環境回復と廃棄物マネジメント・放射線医療
- ・チェルノブイリ、スリーマイル島の事故対策とデコミ・安全性評価
- ・福島コミュニティの復興 など (詳しくは裏面のプログラムをご覧ください)

第1回 2017年5月 ウクライナ・キエフ市とチェルノブイリ

第2回 2017年10月末～11月初 米国・ワシントン

[主催] 学校法人昌平賢 東日本国際大学 [共催] 日本原子力学会

[主管] 東日本国際大学 福島復興創世研究所

[責任者] 東日本国際大学・福島復興創世研究所所長 大西康夫

[後援] 復興庁、文部科学省、経済産業省、環境省、日本原子力研究開発機構(JAEA)、福島県、いわき市、福島県市長会、福島県町村会、双葉地方町村会、いわき商工会議所、東京電力ホールディングス(TEPCO)、福島民報社、福島民友新聞社、いわき民報社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、FMいわき (予定・申請中を含む)

東日本国際大学

■経済経営学部 ■健康福祉学部

いわき短期大学

■幼児教育科

申込方法

参加申込締切
7/30(月)

参加希望の方は、電話・FAX・メールはがきにてお申し込みください。お申し込みの際には、①参加される方・代表者のお名前(フリガナ)②参加人数③代表者の連絡先④参加希望日⑤ランチ申込数をお知らせください。ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

お問い合わせ・申し込み窓口

学校法人昌平賢 地域連携研究センター

TEL.0246-25-8885

※平日8:30～17:00受付

メール koryu@tonichi-kokusai-u.ac.jp ※24時間受付対応

FAX.0246-85-0231

※24時間受付対応

はがき 〒970-8023 いわき市平籾田字寿金沢37 地域連携研究センター

〒970-8023 福島県いわき市平籾田字寿金沢37 TEL.0246-35-0001(代) FAX.0246-25-9188

※ご記入いただいた個人情報は、発表会に関するご案内・ご連絡、参加登録、及び本学からの情報提供のために利用します。また、個人情報を第三者に提供することはありません。参加お申込をいただいた時点で、個人情報の取り扱いについて同意したものとみなします。

第3回

福島・チェルノブイリ・スリーマイルアイランド 国際シンポジウム

プログラム 同時通訳対応

途中入退場可

■2018年8月1日(第一日目):福島に関する内容

時間	項目	発表者名	所属/役職	タイトル
9:00	開会挨拶	復興大臣 東日本国際大学 福島復興創世研究所	吉野正芳衆議院議員 吉村作治学長 大西康夫所長	
9:20	プレゼン1	飯島 和毅	日本原子力研究開発機構/福島研究開発部門 福島環境安全センター 放射線計測技術グループリーダー	環境回復
9:50	プレゼン2	小沢 晴司	環境省/東北地方環境事務所長 兼福島地方環境事務所参事	環境回復と廃棄物マネージメント
10:20	休憩			
10:40	プレゼン3	角山 茂章	福島県環境創造センター/所長	環境回復と廃炉リスク
11:10	プレゼン4	三倉 通孝	日本原子力学会/理事	水耕栽培のセシウム移行評価
11:40	プレゼン5	大倉 誠	東京電力/常務執行役	福島コミュニティの復興
12:10	ランチタイム	各自でご用意ください ※ランチの事前予約承ります		
13:30	プレゼン6	ユリア・リヤムジナ	福島医科大学/助教	放射線医療と精神衛生
14:00	プレゼン7	野村 茂雄	原子力損害賠償・廃炉等支援機構/理事	福島原発のデコミ
14:30	休憩			
15:00	プレゼン8	佐藤 修彰	東北大学/教授	福島原発のデコミとオフサイト活動
15:30	プレゼン9	鷲谷 忠博	日本原子力研究開発機構/福島研究開発部門 廃炉国際共同研究センター ティヴィジョン長	福島原発のデコミ
16:00	第一日のまとめ	大西 康夫	福島復興創世研究所	福島発表のまとめ
17:00	終了			

■2018年8月2日(第二日目):チェルノブイリとスリーマイルアイランドに関する内容とパネルディスカッション

時間	項目	発表者名	所属/役職	タイトル
9:00	プレゼン10	大西 康夫	福島復興創世研究所	チェルノブイリの総括とデコミ予定
9:30	プレゼン11	ガンター・プレッツシュ	Gesellschaft für Anlagen- und Reaktorsicherheit (GRS) / Head of Radiation and Environmental Protection Division	チェルノブイリの安全評価
10:00	休憩			
10:30	プレゼン12	バレリー・スルモフ	NOVARKA / Licensing Manager	NSC(新・安全閉じ込め構造物)の建設
11:00	プレゼン13	ローマ・ゴドゥン	Institute for Safety Problems of Nuclear Power Plants/ Head of department	シェルターオブジェクトとNSC内の放射能ダストの測定デコミ作業員の安全性評価
11:30	プレゼン14	パブロ・クルコフスキー	Institute of Engineering Thermophysics /Head of department	シェルターオブジェクトとNSC内外の放射能ダストの拡散モデル1 デコミ作業員の安全性評価
12:00	ランチタイム	各自でご用意ください ※ランチの事前予約承ります		
13:30	プレゼン15	ミハイロ・メテル	Institute of Engineering Thermophysics /Senior researcher	シェルターオブジェクトとNSC内外の放射能ダストの拡散モデル2 NSC運営とデコミ作業員の安全性評価
14:00	プレゼン16	タチアナ・キロツツカ	IAEA(国際原子力機関)	福島とチェルノブイリから学んだ教訓、将来の安全性
14:30	休憩			
15:00	プレゼン17	ジム・バーン	Byrne & Associates	スリーマイルアイランドの事故対策
15:30	プレゼン18	ジム・バーン	Byrne & Associates	スリーマイルアイランドのデコミ
16:00	パネルディスカッション	東京電力、環境省、福島県、JAEA、NDF、日本原子力学会、福島医大、東北大学、 IAEA、NOVARKA、GRS、ISPNNP、IET、Burns & Associates 司会:大西康夫		
17:30	閉会挨拶	元復興副大臣 学校法人昌平学園 福島復興創世研究所	若松謙維参議院議員 緑川浩司理事長 大西康夫所長	
17:50	終了			

※ プログラムは変更の場合もあります。

■2018年8月3日(第三日目):発表者の福島第一原発サイトツアー

↓参加申込書 FAX:0246-85-0231 ↓ 以下の参加申込書に必要事項を記入し、FAXを送信してください。

ふりがな				所属名
代表申込者氏名				
申込者住所	〒			
電話番号	FAX	E-mail		
参加希望日	希望する方に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください <input type="checkbox"/> 8月1日(水) <input type="checkbox"/> 8月2日(木)			
同行者数	名			
ランチ申込数	個 (申込締切:7/26(金)まで) <サンドイッチ・ドリンク 500円(税込)>			

※ご記入いただいた個人情報は、発表会に関するご案内・ご連絡、参加登録、及び本学からの情報提供のために利用します。また、個人情報を第三者に提供することはありません。参加お申込をいただいた時点で、個人情報の取り扱いについて同意したものとみなします。